

平成二十五年富山大学入学式 新入生への特別講演

「人間力を高める」

富山大学芸術文化学部・高岡短期大学同窓会 創己会会長
高岡市消防本部 警防課長 寺口 克己（昭和六十二年卒）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、ご父兄の皆様に対しまして、心からお喜びを申し上げたいと存じます。

今ほど、紹介いただきましたように、私の出身学部は、高岡キャンパスにある

芸術文化学部の前身である高岡短期大学であります。

第一期生として、昭和六〇年に社会人入学生として入学しました。

高岡短期大学設立に関しては、当時、地元の高岡市も大変力を入れておりましたので、高岡市からも誰かを入学させようということになりました。上司からの勧めもあって情報処理学科に受験したところ、なんとか合格したわけであります。

大学の二年間は、学業もさることながら、社会人ということもあって

何かとあてにされたこともあり、学生自治会の設立とか、大学祭の実行委員会、

そして、同窓会の設立と、学業以外の面でも精力的に活動していたことを懐かしく思っております。

さて、皆さんは、大きな志と期待をいできて、この富山大学に入学されたと思います。

学部によって志す分野が違いますが、これからは、学門を修めるために、

精一杯に努力されることと思います。

しかし、はつきり申し上げて、学問だけでは充分とはいえません。

大学生となった皆さんは、今までとは違います。

これからの貴方がたは、学生でありながらも、社会人として、成熟していかなければならない時期にあるということです。

勿論、社会人としての成熟の度合いを高めることは、

人生を終えるまでのテーマだと思えます。

そんなことは、大学を卒業後に、社会経験に合わせて しっかりやればいけないかと思う人もいるかもしれませんが、それでは、完全に乗り遅れてしまいます。

私としては、皆さんには、是非とも、この富山大学で大きく成長していただきたいとの思いで、本題に入りたいと思います。

テーマとしては、「人間力を高める」というものです。

人間力という言葉は、この講演の依頼があつて、一番に思いついたものでしたが、この言葉が、世の中ではどのように使われているのかをインターネットで調べましたらしつかり、載っております。

それで、人間力という言葉ですが、通俗的に使用されているようですが、辞書、辞典には載っていない場合が多いようです。

ただ、行政機関の文書には人間力という言葉が十年ぐらい前から使用されておりまして、一例としましては、内閣府に置かれた「人間力 戦略研究会」という国の諮問機関においても使われていたケースがありました。

そして、人間力の用語の定義ですが、確立されたものはないようですが、その研究会では

「人間力とは、自立した一人の人間として 力強く生きていくための総合的な力」としてあります。

そして、人間力を3つの能力に分けています。

まず、**知的能力** これは基礎学力、論理的思考力、創造力などの能力をいいます。

次に、**社会・対人関係能力** これはコミュニケーション、リーダーシップ、公共心などの能力をいいます。

最後に、**自己制御能力** これは意欲、忍耐力などの能力をいいます。

ひとつの事例を紹介します。

ある大手企業の部長さんの話として

「最近の新人に、始業30分前の出勤、そして、職場での挨拶・返事の徹底、身の回りの整理整頓を実行させようと思つたら、ものすごいエネルギーが必要ですよ」ということをお聞きしました。

理由としては、最近の新人は基本的なことを軽く見ているために、素直に身につけよう

とせず、「なぜ、早く出勤しなければならないのか」

「どうして挨拶・返事をいちいちしなければならぬのか」といって内心では反発し、部長の指導を迷惑視する態度がみられるというものであります。

このようなことは、今の皆さんにとっても、他人ごとではないと思いますよ。

人の一生には、その人間力を評価される節目があります。

今までの皆さんにとって、その節目の主なものとしては、高校受験、そして、大学受験があったと思います。

そして、その評価を得ることができたらこそ、今、貴方がたは、その席に座っていらっしやるわけです。

では、今後は、どうかというと。

当面の大きな節目として就職があります。

当然、あなた方は、それを乗り越えていかなければいけません。

入学したばかりなのに、早くも、就職の話なの、と思われるかもしれませんが、現実には、ゆつくりはしては、おられません。二年後は現実の話として迫ってきます。

就職試験の評価というのは、貴方がたが今まで体験してきた評価とは違います。

なにが違うかということ、人間力で説明したいと思います。

今まで経験してきた評価のポイントは、何かというと

一番目の能力である 知的能力を主とした評価でした。

ところが、就職試験の評価には、その知的能力に、社会・対人関係能力、自己制御能力が加わり、最終的には、この二つが大きいポイントを占めるといっても過言ではありません。

ですから、皆さんには、これから、就職活動までの間に、この社会・対人関係能力と自己制御能力をアップさせる必要があるということです。

ところが、やっかいな点があります。

この社会・対人関係能力、自己制御能力というのは、

一夜漬けでは身につかないのです。

身につけるには、今から時間をかけて 自分自身を鍛え上げて

いかなくはならない、ものだということです。

では、どのようにして、社会・対人関係能力と自己制御能力を上げるかということですが、

それでは、社会では、極あたりまえのことを二つ、皆さんに提案したいと思います。

それは、時間管理と挨拶の徹底です。

この二つのことをしっかりと習慣づけることによって、必ず、貴方がた自身が変わると思います。

「習慣は、第二の天性なり」という諺があります。

これは、「身についた習慣は、生まれつきの性質に劣らぬほど、

人の一生に多大な影響を与える」という意味です。

この諺は時代を超えて、真理を突いていると思います。

では、時間管理について、話を進めますが、

今まで、皆さん方は、高校生活までは、ぎっしり詰まった授業の時間割などで、ある意味規則正しい生活をおくっていたと思います。

ところが、大学の授業というのは、履修の仕方によっては、午後からの授業であったり、まったく授業のない曜日があったりします。

そのような場合、どうゆう生活パターンになるかということ、午後からの授業に合わせて、昼近くまで寝ていたり、或いは、だらだらとした時間を過ごしてしまいがちになります。

これは、授業カリキュラムに合わせた学生生活をしていることで、計画性をもった生活を送っていないわけです。

このような状態では、学力の向上も望めませんし、自立した大学生活とはいえません。早起きとまで言いませんが、少なくともウィークデーは、授業の開始時間に関係なく、毎朝定時に起きて、自分の大切な時間をしっかりと自己管理してほしいと思います。

早起きの習慣を勧めることばは多くありますが、その一つを紹介し

「朝を制する者は一日を制する。一日を制する者は、一年を制する。

一年を制するものは、一生を制する。」というものです。

皆さんには、是非とも一生を制してほしいと思います。

では、次に、挨拶の徹底です。

これは、社会・対人関係能力の向上のためだと思ってください。

アメリカの実業家で作家でもあるデール・カーネギーは、

「成功の八割は、人間関係で決まる」と言っています。

人間関係を良くする決め手は、挨拶を徹底して実行することです。

どんなに知識や技術があっても、挨拶のできない人は、

家庭でも社会でもうまくいきません。

では、挨拶をしつかりできるようになることで、

どのような効果があるかということですが、

一番に、思いつくのは、「この人は、挨拶が良くて、好感がもてる人だな」と
思われることだと思います。

たしかに、そうです。しかし、それ以上の効果があります。

それは、貴方がた自身が、相手の目を見て挨拶を行うことで、

相手の表情とか話す内容など、いくつかの情報が貴方がたに入ってきます。

これが繰り返されることによって、自然と、人に対する観察力や洞察力が
身についてくるということです。

私は、仕事柄、危機管理とか安全管理というものを、

自分なりに勉強して実践しています。

特に、災害現場での安全管理については、神経をとがらせています。

私も消防の任務としては、火災や救助現場などへ、人命救助のために、危険を承知
で進入していかなければなりません。

ですから、危険な場所に身を置いて、安全が担保されるように、
活動を行うわけですが、この管理要諦が、いわば、安全管理の基礎というものです。

消防の安全管理の心構えとして、次のことばがあります。

安全管理のABCというのですが、

Aは、あたりまえのこと Bは ポーとしないで Cは ちゃんとやれ です。
核心をついたことばです。

安全管理のABCは、

あたりまえのことをポーとしないで、ちゃんとやれということです。

このABCは、いろんな管理論にあてはまると思います。

このABCが100%実行できたなら、人間の行動におけるヒューマン・エラーといわれるものが、相当、回避できるのではと思っています。

つい最近まで、あたりまえ体操というのが流行っておりましたが、あたりまえという言葉を目にしたら、このABCを思い出していただければと思います。

以上で、私の話を終わりますが、人間力、そして、
時間管理と挨拶の意義を理解していただいたなら、

是非実践していただきたいと思えます。

最近のCMにありましたよね。

「いつ、やるか？ 今でしょう。」

皆さんが、人間力が高い社会人として、

この富山大学を卒業されることを期待して、終わりにします。

ご清聴 ありがとうございました。